



本社 用地管財部
用地補償課
2024年度入社 事務職

IZUMI TOMOYA

和泉智也

《現在の業務内容》 用地補償業務補助、各事務所からの報告資料の取りまとめ、研修やマニュアル改訂、部内総括を担当

《就職先として選んだ理由と入社して良かったところ》
小学生の頃、利根大堰を訪れ、水資源が地域社会に与える影響を学びました。それをきっかけに、防災や治水への関心が高まり、社会に貢献できる仕事をしたいと考え、機構に就職しました。入社して年が経ちますが、信頼できる上司や同期に恵まれて、人々の当たり前を支える仕事に誇りを持ちながら、充実した気持ちで働くことができています。

《一番印象に残っている業務内容》

研修で講師を務めたことです。用地業務の権利者調査について講義を行うことになり、経験がない中で、興味を持ってもらえるような講義ができるよう、アドバイスをもらいながら準備をしました。講義後に受講者から質問が出たことで、しっかりと伝わったと実感し、自信につながりました。挑戦したこと



成長できた貴重な経験です。

《これから入社を希望する方へのメッセージ》

信頼される職員になることを目指しており、そのために、相手を尊重することを大切にしています。私の場合、調整業務が多くを占めているため、相手の状況を踏まえたコミュニケーションが必要で、相手を尊重しながら仕事をすることで、一緒に仕事をしたいと思われる職員を目指しています。

FUJISAWA DAISHI

藤澤大志

草木ダム管理所
管理・設備グループ
2019年度入社 土木職

《現在の業務内容》 予算管理、土木工事・業務の監督、水源地域振興並びに監督業務における人材育成

《就職先として選んだ理由と入社して良かったところ》
岐阜県の揖斐川と長良川に挟まれた輪中地域の出身で、上流は徳山ダム、下流は長良川河口堰と機構の施設に守られて育ったこともあり興味を持ちました。ダム管理業務では、水管理を通して、平常時は必要な水の供給、出水時は流水の調節を適切に実施することで、多くの人の生活を支えていることを実感できる点が非常に良いと感じています。



《一番印象に残っている業務内容》

本年度から担当している予算管理です。事務所全体を見ながら執行管理を行う必要があり、難しいと感じることも多いですが、うまく対応できると達成感を感じます。予算要求も、事務所全体に関わる重要な業務でプレッシャーを感じますが、その分やりがいも感じます。

《仕事をしていく上で大事にしている所感》

業務の目的や主旨を意識しながら日々の業務を行うようにしています。目的や主旨を理解せずに行う業務は、ただの作業となってしまう自身の成長につながらないと考えているからです。後輩職員を指導していく立場になってからは、今までの経験を活かし、業務の目的や主旨についても深掘りしつつ人材育成を行うよう意識しています。

《これから入社を希望する方へのメッセージ》

生活する上で欠かせない水を通して、多くの人の生活を支えたい、また、業務を通じて成長したいと考えている方には機構を強くオススメします。機構は水に関わる幅広い業務を行っており、これまで経験したことのない業務に携わることも多々ありますが、周りには頼れる職員がいるので、恐れずに挑戦していいと思います。



に挑戦していいと思います。

水資源機構の次代をつなぐ若手職員の皆さんに、就職先に機構を選んだ理由、これから入社を希望する方へのメッセージなどを伺いました。

シリーズ
第4回

次代をつなぐ力



比奈知ダム管理所
2022年度入社 電通職

TAKEI MASAKI

武井昌規

《現在の業務内容》 比奈知ダムにおける電気通信設備の管理・修繕、障害対応、発注、施設操作

《就職先として選んだ理由と入社して良かったところ》
多くの人のためになる仕事をしたいと思っており、就職活動をしている中で機構を知りました。水という生活に必要な不可欠なものを管理していること、また近年話題になっている異常気象による水害から生活を守っていることに関心を持ち就職先として選びました。機構は福利厚生が整っており、休みも取りやすい環境なのが良いところだと思います。

《一番印象に残っている業務内容》

入社して初めての防災対応です。防災対応時には少ない人数で対応することになりますが、普段の仕事も慣れない中、一晩中泊まり込みで管理所一丸となり防災操作を行いました。放流警報の操作やゲートの操作を行い、どちらもミスが許されない責任感のある仕事でしたが、何事もなく防災操作が終わったときは達成感を感じました。

《仕事をしていく上で大事にしている所感》

機構の業務内容は多岐に渡り、いろいろな業務があります。その中で、個別の依頼もありますので、頭の中で優先順位を決めて一通り計画をたててから業務を行うことを心がけています。また、私は忘れっぽいところがあるので、基本的なことではありますが、メモをとることも意識しています。

《これから入社を希望する方へのメッセージ》

インフラや公共性の高い、人のためになる仕事に興味がある人には向いている仕事だと思っています。仕事をする上では同期や先輩と横のつながりを大切にしてもらいたいです。特に、電通職は人数が少なく、事務所に一人しかいないということもあるので、電話などで気軽に相談できる人がいると良いと思います。



IBATA RINTRO

伊場田倫太郎

筑後川下流用水事業所 調査設計課
2022年度入社 土木職

《現在の業務内容》 筑後川下流用水総合対策事業にかかる調査・設計業務

《就職先として選んだ理由と入社して良かったところ》
大学では農業土木を学んでおり、機構の管理する施設や、工事現場を見学しました。そこで、農業用水のみならず都市用水の供給も行い、水利施設の建設から管理まで行っている水のプロ集団であることを知り、興味を持ちました。機構は休暇が取りやすくワークライフバランスが充実しているところが良いところだと思います。

《一番印象に残っている業務内容》

現在取り組んでいる総合対策事業には、地震対策、老朽化対策、農地防災の3つのメニューがありますが、初めての工事発注で管水路改築工事の設計や積算を担当したことが特に印象に残っています。たくさん悩み、多くの時間を費やしましたが、周りの方々のサポートもあり無事に達成することができました。

《仕事をしていく上で大事にしている所感》

休暇を取ってよく旅行も行きますが、業務の繁忙期にはより集中し、メリハリをつけて仕事に取り組むことを大事にしています。入社して分らないことばかりなので、疑問があれば調べて、質問してとにかく知識を多く吸収すること、また現場に積極的に出向いて自分自身で経験することも大事にしています。

《これから入社を希望する方へのメッセージ》

土木職はデスクワークだけでなく、施設操作や点検、工事監督など幅広い業務に携わります。また、広報活動や地元交流、学会発表などが経験でき、今年の2月には国際的な技術交流セミナーで発表も行いました。自分の興味があることに挑戦できる環境ですので、ぜひ皆さんも機構で様々なことに挑戦してほしいと思います。

